上平村誌

上平村役場庁舎

笈ヶ岳の遠望

庄　川　峡

合　掌　の　里

合　掌　大　橋

序

私たちの念願とするところは、この郷土の生活を、どうしたら今日よりもよくすることができるか、ということでなければならないが、それには郷土がどんな変遷をたどって今日に至ったのか、私たちの祖先がどのような生活をしてきたのか、ということを一応の認識としてもつことが何よりも大切だと思う。

そうした意味で、郷土のあり方を考え、また将来の村の歩みに資することを目的として、本書が生れた。

歴史の調査や研究は際限のないところであるが、本書の編纂にあたっては、特に綿密な調査研究は行なわず、これまでに発表されているもの、知られていることなどの列記にとどめた。

なお、編集にあたっては、村民が読みやすく、わかりやすく、さらに面白く、ということに意を配した。

本書によって、幾分なりとも郷土の歴史を知り、本書が新しい村づくりに資することができたら、これに過ぐる喜びはない。

この書を刊行するにあたり、ご協力を賜わった各区長さんや、資料を提供してくださった方、その他多くの方々に対して、深く感謝を申しあげる次第である。

昭和五十七年三月十日

上平村長　真田治悦

目　次

第一編　郷土のむかし

第一章　郷土のむかし……一
一、土器・石器……一
二、平安時代以前の伝説……四
三、平家落人説……六
四、南北朝のころなど……六
五、城址・古戦場など……八
第二章　五ヶ山のはじまりのころ……九
一、越中における一向宗のはじめ……九

二、蓮如の活動……一〇
三、一揆衆の活動……一〇
四、道宗の遺業……一一
五、五ヶ山のはじめ……一四
六、五ヶ山の区域……一五
七、一向宗の繁栄……一七
八、五ヶ山十日講……一七
九、本願寺教団の統御……一九
十、佐々成政の進出……二〇
十一、天正の大地震……二〇
第三章　加賀藩時代……二一
一、前田家の支配……二一
二、村役人……二二
三、検　地……二四

四、村御印……二二五
五、上　納……二二五
六、御鷹巣見扶持……二二九
七、諸役御免……三〇
八、引　免……三〇
九、改作法と田地割……三一
十、禁伐令や法度・御定書……三三
十一、生類あわれみの令……三五
十二、流　木……三六
第四章　塩　硝……三八
一、塩　硝……三八
二、塩硝の作り方……三九
㈠塩硝土の作り方
㈡灰汁煮塩硝の作り方

㈢中煮塩硝の作り方
㈣上煮塩硝の作り方
三、荷造り……四八
四、輸　送……四八
五、生産量、株、煮屋など……四九
第五章　流　刑……五三
一、流刑地……五三
二、流刑小屋など……五三
三、流刑の方法……五四
四、流刑人……五五
五、お小夜について……五六
第六章　昔の交通……五九
一、峠越えの道……五九
二、飛騨への道……六一

三、村内の道……六一
四、篭の渡……六二
五、関　所……六六
六、交通に危険なもの……六九
第七章　農民のくらし……七一
一、判　方……七一
二、養　蚕……七三
三、和　紙……七三
四、御貸米・御延払など……七四
五、五ヶ山の産物とくらし……七五
第八章　明治維新のころ……七八
一、廃藩置県……七八
二、戸長役場……七九
三、社会動態……八〇

四、産業の興亡……八一
五、平・上平組合……八四

第二編　上平村ができてから

第一章　上平村ができて……八五
一、上平村の誕生……八五
二、上平村の名の由来……八五
三、世帯数と人口の動き……八六
四、北海道への移民……九三
五、村民のくらし……九四
六、判　方……九五
七、桂と加須良の境界の解決……九七
八、電源開発と流木問題……九七

九、水力電気事業の誘致……九八
十、軍国時代……九九
第二章　戦後の行政……一〇〇
一、終戦直後……一〇〇
二、戦後の開発……一〇三
三、過密と過疎……一〇四
四、宮さまの訪村……一〇六
五、置村八十五周年記念事業……一〇八
六、自治功労……一一一
第三章　役　場……一一四
一、役場庁舎の変遷……一一四
二、村長と議員……一一五
三、一般会計当初予算の動き……一二六
四、役場組織……一三五

第四章　交通・運輸・通信……一三五
一、主要道路の整備……一三五
二、橋梁の沿革の大要……一三七
三、その他の道路……一四〇
四、交　通……一四一
五、輸　送……一四三
六、郵便・電話など……一四四
七、ラジオ・テレビほか……一四六
第五章　産業・経済……一四七
一、水田・その他の耕地……一四七
二、農耕・農作業……一五〇
三、養蚕・蚕糸……一五二
四、和　紙……一五四
五、畜　産……一五六

六、水　産……一五六
七、木　炭……一五七
八、林業・林政……一五八
九、商　工……一五八
十、観　光……一六一
十一、団体など……一六三
第六章　厚　生……一六三
一、保健・衛生……一六三
㈠民間療法　㈡病気　㈢医療　㈣し尿処理　㈤ごみ処理　㈥斎場
㈦簡易水道など
二、保育所……一六七
第七章　治安・兵事……一七〇
一、消　防……一七〇
二、災害の記録……一七二

三、兵　事……一七八
(一)兵役　(二)戦役　(三)戦時における村内　(四)戦後　(五)戦没者名簿
第八章　教育・文化財……一九〇
一、藩政時代の教育……一九〇
二、学校教育の変遷……一九一
三、学校のうつりかわり……一九二
四、社会教育……一九七
五、文化財……一九八
(一)重要文化財　(二)国指定史跡　(三)村指定文化財

第三編　郷土の自然と民俗

第一章　自　然……二一四
一、位置・地勢……二一四

二、気　象……二一六
三、生　物……二二二
㈠動物　㈡鳥類　㈢魚類　㈣爬虫類　㈤両棲類　㈥多足類　㈦腹足類
㈧環虫類　㈨昆虫類　㈩植物
四、公　園……二二九
㈠国立公園　㈡県立自然公園
第二章　民　俗……二三〇
一、衣食住……二三〇
㈠衣　㈡食　㈢住居
二、生　活……二五一
㈠年中行事　㈡コーリャクとユイ　㈢春祭　㈣獅子舞　㈤盆おどり
㈥バンモチ　㈦子供のあそび　㈧出産　㈨結婚　㈩葬制　㈪民俗知識
三、民話・方言……二七三
㈠民話　㈡方言

四、民謡など……二八七
(一)民謡　(二)わらべうた
第三章　紀行・俳句……三一五
一、紀行文ほか……三一五
二、俳　句……三一六

第四編　集落史

一、成　出……三二八
二、楮……三三三
三、真　木……三四四
四、東赤尾……三四九
五、新　屋……三五五
六、上中田……三六二

七、田下……三六九
八、菅沼……三七四
九、細島……三八一
十、小原……三九三
十一、猪谷……四〇一
十二、皆葎……四一二
十三、葎島……四二五
十四、小瀬……四二九
十五、漆谷……四三五
十六、下島……四四三
十七、西赤尾町……四五一
十八、打越……四六七
十九、桂……四七一

第五編　資料集

一、宗　教……四七七
二、塩　硝……四九四
三、流　刑……五二〇
四、道路・交通・関所・篭の渡……五二五
五、山林・流材……五四二
六、糸・蚕・紙……五四七
七、経済・貸米など……五五一
八、掟・令など……五五七
九、その他……五五八
参考・引用資料……五六八